



特集
テーマ

地域と共につくる縄文まつり

平成29年9月20日発行(昭和51年12月1日発行)

「さらしなの里縄文まつり」は 地域の人とみんなで創り、 みんなで楽しむお祭りです!

「さらしなの里縄文まつり」は、千曲市の更級地域で縄文時代の遺跡が発見されたことをきっかけに、地元を盛り上げようと始まったイベントです。更級小学校では、運動会と同じように全校が参加し、地域の一員としておまつりを創り、盛り上げています。



毎年10月の最終日曜日、「さらしなの里古代体験パーク」で開催。来場者は縄文人の気分になって古代食を味わったり、暮らしぶりを体験できます。

自分たちの地域を誇りに思ってもらえるとうれしんだよ。

来年はほかの役割を担う番だね。

●豊稔儀礼

自然のめぐみと神様に感謝する儀式



地域の人のほか、たくさんの方が来場します



●弓矢体験

日々の学習成果(国語科、体育科、総合科)を発表



●芸能発表



●縄文焼き肉

縄文まつりは、地域の方に日ごろの感謝を表す場でもあります



全校で地域の行事に参加できる、縄文まつりをほこりに思います。

今年で25周年、さらだもリニューアル!



●火おこし体験

学年ごとに係を受け持ち、次の年には役割を受け継いでいきます。



●当日、6年生が1年生にメイクをしてあげます。



●川魚をさばく

更級小の子どもたちは、地域の人と共に儀式をしたり、体験コーナーで皆さんをもてなしたり、鼓笛演奏や劇の発表をしたりと大活躍。



縄文まつりで着る服は1年生のときに手作りします。



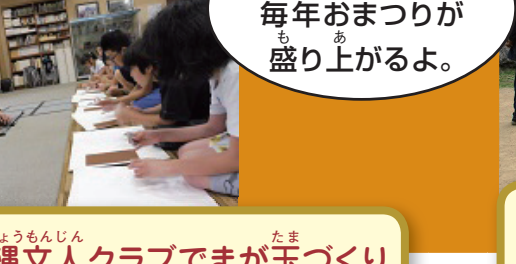
準備も地域の人と

地域の方から教えていただきながら準備を進めます。

来たらにもっと楽しんでもらうにはどんなことをすればいいかな?



縄文まつりをもっと良くするために意見を出し合いました。



みんなのおかげで毎年おまつりが盛り上がるよ。

リハーサル。地域の方から儀礼の手順を学びます。

復活した縄文人クラブでまが玉づくり

各校のボランティア・地域活動の紹介

南相木村立 南相木小学校

相手の気持ちに寄り添って

世代を超えて一緒に楽しく笑顔いっぱい



七夕の願い事を教えてください。



大きな声でやろう。



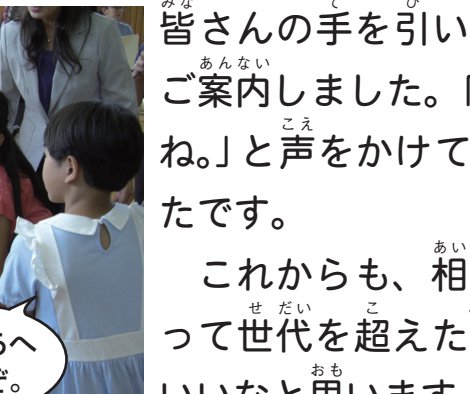
みんなで作ると楽しいね。

南相木小学校では、農業体験やふるさとを知る学習などで地域の方々と交流が盛んです。その中で今回は、学校の近くにあるデイサービスセンターを利用している皆さんとの交流を紹介します。

4月、デイサービスセンター訪問へ向けて、どんな交流ができるかを考えました。「お年寄りの皆さんと仲良くなって楽しんでもらいたい。」「どんなふうに話しかけたらいいんだろう?」「座ってできることを一緒にやったらどうか。」「大きな声でゆっくり話したらいいんじゃないかな。」など、出され



音楽会へご招待



こちらへどうぞ。

た意見をもとに計画を立てました。交流では、みんなで一緒に輪になって手遊びをしたり、大きな声で絵本の読み聞かせをしたりしました。

6月に行われた音楽会にも、デイサービスセンターを利用している皆さんをご招待しました。お年寄りの皆さんの手を引いて、ゆっくり席までご案内しました。「きれいな歌声だったね。」と声をかけてもらい、うれしかったです。

これからも、相手の気持ちに寄り添って世代を超えた交流活動ができるといいと思います。

長野市

南相木村

私たちの学校では、こんな活動をしています。

各校のボランティア・地域活動の紹介

長野市立 真島小学校

みんなの真島を守っていこう!

私たちの手作り防災マップ



ブロック塀に大きなヒビが! 倒れる危険があるよ!



地域めぐり



防災マップを地域の皆さんの前で発表



だんごむしのポーズ

サルのポーズ



机がないとき



机があるとき

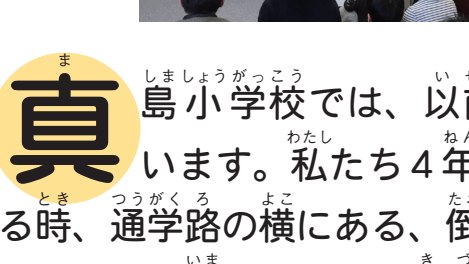


危険な場所がいくつもありません。

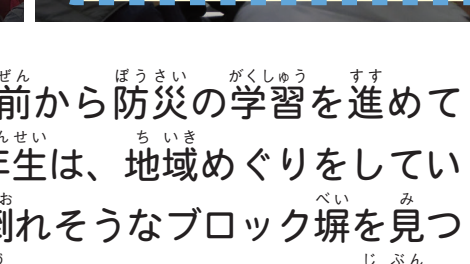


アライグマのポーズ

火事が起きたとき



防災の学習で学んだ地震から身を守る3つのポーズ



真島小学校では、以前から防災の学習を進めています。私たち4年生は、地域めぐりをしている時、通学路の横にある、倒れそうなブロック塀を見つけました。今まであまり気付かなかったけれど、自分たちの住んでいる所にも危険な場所が意外とたくさんあることが分かりました。

そこで、「危険な場所をみんなが知って欲しい!」「大好きな真島を守りたい!」という願いを込めて、防災マップを作り、防災教育イベント「だんごむし広場」で発表し

ました。実際に歩いた私たちの視点で、地震や水害の時に危ない場所や安全な場所を見つけ、「大きな危険」「小さな危険」「真島のいいところ」の3つのマップにまとめて、発表しました。

当日は、100人以上の方が集まって緊張したけれど、真島に住む皆さんに私たちの思いをしっかりと伝えることができました。このときに発表したことが市議会や地区の会議でも取り上げられたと聞いて、うれしかったです。

あの震災を忘れないで 学校に避難しよう

避難所体験

諏訪市立 豊田小学校の取り組み



豊田小学校では、毎年、災害時に避難所となる学校で実際に一泊する「学校に避難しよう」という体験をしています。



東松島市のみんなとの交流



身まわりの物を使った製作体験



非常食体験

アルファ米もおいしくね。

避難所はみんなで分け合おう

今年は、諏訪市の小中学生が交流している宮城県東松島市からも28名の友だちが参加しました。

震災を経験した石巻西高校の教頭先生だった方のお話を聞きました

物を分け合ったり順番を譲り合ったりして、自然に相手のことを考えることができました。東松島のみんなと学んだことをいざいざ役に立てたいと思います。

チャイルドライン

フリーダイヤル 0120-99-7777

困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。

★ちょっといいくらいのことでも、名前を言わなくていいので安心して話してください。

★お説教はしません。どんなことでも、いっしょに考えます。

みんなにカードが送られ、フリーダイヤルでかけてね!

チャイルドラインはみなさんの思いがけず共同基金が設立されています。

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう!

●発行/お問い合わせ ● ふれあいネットワーク

社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

〒380-0928 長野市若里7-1-7 県社会福祉総合センター内

TEL.026-226-1882 FAX.026-228-0130

電子メール vcenter@nsyakyu.or.jp

ホームページ http://www.nsyakyo.or.jp

公益社団法人 信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町1098 TEL.026-232-6994

ホームページ http://www.shinkyo.or.jp/

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルおよび音訳データとしてダウンロードできます。

http://www.nsyakyo.or.jp

この新聞の発行には、みなさんの思いがけず共同基金が設立されています。